

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	福岡教育大学	個人・グループ名	三根 信幸	作品名	御香立て
-----	--------	----------	-------	-----	------

○製作の動機

私は、自宅でお香をたくことがあり、お香立てを持っている。しかし、お香の種類によって径の大きさが異なり、たくことができない場合もあった。また、お香立ては陶器や木材で作られているものが多かった。そこで、金属材料を用いて、数種類のお香をたくことができるようなお香立てを作製することはできないかと思い、本作品を製作した。本作品の製作を通して、デザインや加工の各段階で、さまざまな工夫をすることの重要性に気付くことができた。

○製作を通してスキルアップした点

- ①弓のこや工作機械を用いた材料の切断
- ②旋盤での端面削り・外丸削り・穴あけ
- ③ボール盤での穴あけ
- ④ノギスを使用した材料の大きさの測定



○製作過程

●土台

- ①棒材 (φ50) を旋盤に固定できる長さに切断する。
- ②棒材 (φ50) の端面を削り、先端から 60mm 程度まで外丸削りを行う。
- ③先端から 20mm の部分がφ28 になるまで削り、φ16 の穴を深さ 20mm、φ23 の穴を深さ 6mm であける。
- ④表面の仕上げを行い、先端から 50mm で切断し、切断面をベルトサンダーで仕上げる。
- ⑤防錆剤を塗布する。

●接触防止用の囲い

- ①アルミ棒 (外径 32mm、内径 28mm) を長さ 270mm で切断し、旋盤で切り口の面を削る。
- ②ボール盤を使用し、アルミ棒に数種類の大きさの穴をいくつもあける。

●蓋

- ①棒材 (φ38) を旋盤に固定できる長さに切断する。
- ②棒材 (φ38) の端面を削り、先端から 25mm 程度までが直径 32mm になるまで外丸削りを行う。
- ③先端から 5mm を直径 28mm になるまで削る。
- ④表面の仕上げを行い、先端から 20mm で切断し、切断面をベルトサンダーで仕上げる。
- ⑤防錆剤を塗布する。



○作品のアピールポイント

- 狭いスペースにおけるよう、縦型にした。
- 種類の異なるお香を立てることができるよう、お香を立てる穴を深さを変えて 2 種類あけた。
- 接触防止用の囲いにあけた穴から、お香の煙が出るよう、蓋を作製した。